

(様式2)

放射線等に関する教育実践事例

学校番号・学校名	〈小・58〉	いわき市立	錦	小学校
〈実施日〉	平成 28年 7月 1日 (金)			
〈実践教科等〉	※当てはまる番号に○を付けてください。4は()に教科等を入れてください。 1 理科 ② 学級活動 3 総合的な学習の時間 4 その他()			
〈実践内容〉	1、放射線について知る。 (1) 身の回りにも放射線があることを知る。 ・宇宙から ・大地から ・空気から ・食べ物から (2) 放射線と放射線を出すもの ・放射性物質 ・放射線 2、放射線から身を守る方法はどんな方法があるかを考える。 (1) 事故の時に身を守る方法を知る。 (2) 日常生活で身を守る方法を知る。			
〈成果〉	放射線について知るにより、漠然と怖がるのではなく、自分たちにできることを続けていけば、安心して生活できることが理解できた。			
〈課題〉	放射線について知ることは、2年生にとって難しい内容だった。現在の子供たちの環境が、放射線をほとんど気にせずに生活できている状況なため、原発の事故当時の資料は活用できなかった。1・2年生でも理解できるような放射線についての学習資料があると良いと思う。			
資料作成担当者職(教諭)氏名	(安齊 真弓)		学校電話番号 (63-6434)	

【資料作成上の注意】

1. 平成27年8月～平成28年7月の実践についてまとめてください。
2. 提出期限の平成28年8月1日(月)までに電子メールで送信してください。
(送信先: kakuta-k@city.iwaki.fukushima.jp)